

# そこで兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によ って、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

## 2015(27)年 週 報

9月20日  
第3聖日  
第3422号

「父なる神は一つです」

### 聖言

からだは一つ、御霊は一つです。あなたがたが召されたとき、召しのもたらした望みが一つであったのと同じです。エペソ4:4

礼拝の恵み 第二一章  
第九節 礼拝の障害 (つづき)  
第九節 誇り  
自己礼拝でない限り、礼拝と自慢とは相容れないことは確かである。誇りは神の子にも神の子らの集いにも適わない。しかも、しばしばそうしたことが見られる。そしてその有害な影響は霊的礼拝を欠くと言うことであまりにもはっきりしている。誇りは滑稽である。全く予期していないところに誇りがいることが、しばしばある。なぜなら、人は自分の謙虚さを誇ることにさえできるからである。自分自身の外観についての誇りは、その人に不当に注意させるようにする。才能についての誇りは、喝采を心ひそかに求めている。地位の誇りは、自分の仲間の信者に對して、わざとらしい譲歩的な態度をとらせる。所有物の誇りは、自己満足と虚飾とにあらわれる。自分の教会的地位についても誇りは、自己満足と偽聖とにあらわれる。こうした汚らわしい点をもつと並べたてることができようが、これでもう、個人あるいは集いの礼拝にとつて、これらさまざまな形の誇りがどれほど障害であるかを、十分に示し得たと思ふ。(礼拝 ギブス著)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年九月三日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「御霊の一致を保つ」

「謙遜と柔和の限りを尽くし寛容を示し、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなで結ばれて御霊の一致を熱心に保ちなさい。」(エペソ四ノ二、三)

**祈り**

神様。礼拝に長い道程をたどり着きました。目には見えませんがあなたにお会いするために来ました。幸いのしるしとして霊の恵みを心に満たしてください。悲しい出来事ばかりのこの世にあなたによる幸いを与えてください。

当時ギリシャでは謙遜は人気がありませんでした。今も謙遜は時代遅れの言葉です。積極的に、自分を表現する。人生を充実させるためにいろんなことをする。そんな中で謙遜は自分をださない。自分を殺す。柔和も同じくひ弱な感じがします。しかし、これらの生き方は自分に対しては厳しく律する生活です。それと反対に人に対して寛容にするのです。これは互いに愛をもつて忍耐が必要なのです。これらを実現する力は御霊の一致です。一致ほど難しいことはありません。世界平和を叫びますが、自分の家族の平和を実現できないのです。それは一番親しい同士でも一致ができないからです。御霊の一致は神の賜物です(二ノ一四)。キリストの十字架により与えられるのです

二〇一五年九月一六日午後七時 祈祷会 山本牧師

「不義を恥じる」

「人の子よ。イスラエルの家が自分たちの不義を恥じるために、彼らに神殿を示し、彼らに模型を測らせよ。」(エゼキエル四三ノ一〇)

ユダヤ教は死は汚れたものと見なされた。日本でも不浄とされ

るが、根本的に違う。死は罪のためにこの世に入ってきた。それで神殿の傍に王の墓を作らないように命じられた。イスラエルの罪は神様の前に罪が満ちていたのです。罪のゆえに呪われた死を神殿の傍においてはならない。罪を除かなければならない。そうすれば神が神殿に臨在される。

(「コリ五ノ七」)新しい粉のからまりのままにいるために、古いパン種を取り除きなさい。あなたがたはパン種のないものだからです。私たちの過ぎ越しの小羊キリストが、すでにほふられたからです。」

(ヨハネ二ノ一九)「この神殿をこわしてみなさい。わたしは、三日でそれを建てよう」。

「私は永遠に彼等の中に住もう」(一九)。

## ゴスペルコンサート

一〇月二日(月)祝日 昼一時

一、司会 山本 稔牧師

二、賛美 ゆかりゴスペル

三、信仰の体験 西田潔嗣牧師

四、話し 岡山聖成キリスト教会牧師 足達 和章師

「広大な神の愛」(ヨハネ三ノ一六)

## 集會行進案内

食事 午後四時～午後五時

行進 午後五時～午後六時前

行進コース 教会↓長田神社↓長田商店街↓高速長田駅前

外の司会 山本牧師

外の証し

夕六時

一、司会 足達 和章牧師

二、賛美 ゆかりゴスペル

三、信仰の体験 庄司久子姉

四、話し イエス・キリスト聖成伝道教会牧師 山本 稔師

「平和の鐘をならそう」(ナホム一ノ一五)

### 伝道予算

講師費・・・・・・・・七万五千元

宣伝費・・・・・・・・二万円

準備費・・・・・・・・一万五千元

合計・・・・・・・・一三万円

乞う祈禱と協力。牧師・役員一同

「見よ。良い知らせを伝える者、平和を告げる者の足が山々の上にある。」(ナホム一ノ一五)

特別集會に備えましょう。

昨年の特別集會は台風のために中止しました。二年ぶりの集會です。特に社会では安保法案が強行採決されたことで、国民はこれからどうなるのか、将来に不安を感じています。こういうときこそ真実の平和を必要とします。それを生み出すのは主イエス様であり、それによって私たちクリスチャンが神の子として新生したのです。巷では理系より文系のほうが徴兵の可能性が高いと考える若者、子どもが戦争にかりだされるのではと心配している子育て中の若い夫婦、再び焼夷弾の恐怖におびえる高齢者が、どうしていいかわからないのです。この度の集會で朽ちたり、変質しない愛と平和を知らせるのです。家族、友人、近所の人をお誘いいたしましょう。また特別ゲストとして初め

てお招きするゆかりゴスペルは萱原よしさん、ゆかりさん夫妻と力都君 希咲ちゃん、歩喜君の五人家族です。予定ではご家族で参加してくださいませ。(幼稚園の運動会の関係で一家全員参加できない場合があります)。ご家族が揃って参加できるようにお祈りください。